

知恵 知ってこ生活の知恵

暮らしのアドバイス No.132

ファイナンシャル 仲西 康至 (音江町在住)



新年度の始まりを機に、貯蓄を考える人も多いでしょう。しかし、超低金利社会のなかで、お金を銀行に預けているだけでは一向に増えません。

例えば、定期預金（年利0.04%）では、預金100万円が200万円になるには、およそ1800年もかかります。一方で、5年間で1,000万円貯めるためには、1日あたりの積立額はいくらでしょうか。年利0.1%として試算すると、1日5,542円、年間1,995,096円となります。これが、年利3.0%で貯蓄が可能ならば、1日5,156円、年間1,856,244円です。毎日約5,000円を利回り3.0%で資産運用できれば、5年後には1,000万円近い金額が貯蓄できることになります。食費や光熱費を1日5,000円分も節約することはできません。

しかし、新年度の始まりを機に、日常生活を見直しに取り組んでみては如何でしょうか。

新年度から貯蓄を 考える方へのアドバイス



見直し効果が大きいものは、「たばこ」・「スマホ」・「保険」・「車」・「預貯金」などです。

「たばこ」は今後も値上げ予定されており、健康被害も懸念されます。病気になれば、貯蓄ではなく、多額の支出につながります。

誰もが1台は所有する「スマートフォン」は、格安スマホや格安SIMなどへの見直しをする人が増えています。

「保険」は生命保険と損害保険（車、火災等）と区別すると良いでしょう。生命保険は保証額を下げるのではなく、過剰な保証部分を見つけ出すことが必要です。損害保険は自動更新をする方も多く、更新のタイミングで見直してみることがお勧めです。

「車」は燃費効率の高い車を選択したり、家族内シェアで保有台数を減らすことも大切です。

最後に、「預貯金」は冒頭でも述べたように、定期預金だけでは資産がほとんど増えないことか

ら、預貯金の半分を積極的な資産運用に回してみるなどの検討も如何でしょうか。

その他にも、節税から「ふるさと納税」による節税、電子マネーを活用し、銀行のATM機の利用機会を減らすなど、日常生活のなかの小さな見直しポイントを見つけるのも良いかもしれません。